

旧小天東小学校の利活用に関するサウンディング型市場調査
事前（現地）説明会 質問及び回答

	質問	回答
1	太陽光発電システムの発電量と電気料への影響はどのようになっているか。	資料の電気使用量には、太陽光発電システムの発電量は含まれていない。 太陽光発電システムで生じた余剰電力を電力会社に売電している。令和2年度（閉校前）の余剰電力は17,107kwh、令和3年度（閉校後）は16,002kwh。 買取価格は、令和2年10月以降、7円/kwh。
2	利活用の内容について、地域住民の希望等は取りまとめているか。	別紙のとおり
3	太陽光発電の設置年度は。	平成22年度設置。
4	単独浄化槽はこの大きさ（35人槽）で運用されていたのか。	建築用途により処理対象人員の算定式が違う。学校については、定員で浄化槽の処理対象人員が決まるため、それに基づき運用している。 ※「建築物の用途別による屎尿浄化槽の処理対象人員算定基準」で、学校については、 $0.2 \times \text{定員} = \text{処理対象人員}$ となる。
5	全体的に期間が短いと考える。プロポーザルの提案書募集期間など。	サウンディングで意見を聴取し、検討する。現状では3か月程度公募期間を取る予定。
6	サウンディングに不参加の場合やサウンディングで提案書を提出しない場合でもプロポーザルには参加可能か。	サウンディングに不参加の場合でもプロポーザルに参加可能。また、サウンディング時に提案書を未提出でもプロポーザルに参加可能。